

伊賀市議会政務活動費明細書

伊賀市議会議長 様

報告者
議員名

上田 宗久

支出項目

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費

人件費・事務所費

(該当項目に○をつけて下さい)

内 容

日付	明細	領収書等の 金額 (円)	按分率	金額 (円)
2/10	広報費	22,770	2/3	15,180
/				
/				
/				
/				
/				
/				
計				15,180 円

ACCEA

領 収 書

会員番号 : XXXXXXXXXX
領収書番号 : 04444164-1

発行日 : 2024/02/10
出荷日 : 2024/02/05

上田 のりひさ 様

合計金額 (税抜き) : ￥ 20,700 -
消費税 (10%) : ￥ 2,070 -
領収金額 (税込) : ￥ 22,770 - ✓

但し 印刷代 として

上記正に領収いたしました。

※2/4(日) WEBクレジット決済処理分として

〒103-0023
中央区日本橋本町4-1-1 加島商館
株式会社Hark
アクセア新日本橋店



(代表) 株式会社アクセア T2011101035312
東京都千代田区麹町2-4-11 麹町スクエアプラザ2F



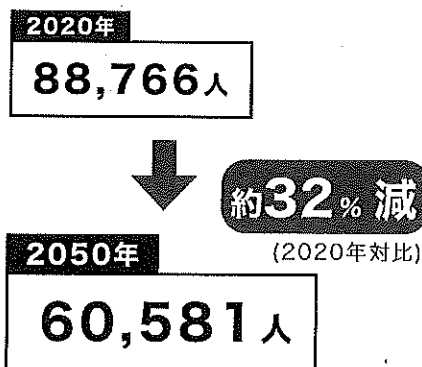
令和6年の幕開け早々の元旦に、石川県能登地方を震源とする大規模地震が発生し、死者が238人に達しています(1月31日現在)。安否不明者、倒壊家屋、津波被害も多数にのぼっています。さらに翌1月2日には羽田に着陸途上の日航機と被災地支援物資を運搬するために離陸準備していた海上保安庁の航空機が衝突炎上しました。そのために5名の海上保安庁の職員の方々は殉職されました。まずは被害に遭われた被災地の方々や殉職された方々に対し、心からお見舞いとお悔やみを申し上げます。

(伊賀市からも消防隊員15人や被災建築物応急危険度判定士職員1人、上野総合病院からは医師、看護師など4人で編成するDMATが能登地震の被災者の救助や避難所運営支援に駆け付けました)

伊賀市の人口減少にどう向き合うか

伊賀市の将来推計人口

国立社会保障・人口問題研究所の発表によると、
2050年の伊賀市の人口は、60,581人と推定されています。
(詳細は4ページ)



<岡本市長のコメント>

「驚きはない。『何も手を打たなければこうなる』という数字に過ぎない」人口増加に向けて取り組んでいる施策として、工業用地の造成や企業誘致、小中学校給食の無償化を挙げ「どれも始まったばかり。これから効果が表れるはず」と期待している。「悲観的に考えないのも大事。人が少なければ、自然の中で豊かな暮らしが出来るとも言える。発想の転換も必要」(2023・12・23讀賣新聞三重版)

民間の有識者による「人口戦略会議」が政府へ提言

日本の総人口は長期推計では約6300万人に半減されるとされていたが、「国の人口戦略会議」では「安定的で成長力のある8000万人国家」を掲げ、人口減少を食い止め策として「人口ビジョン2100」を政府に提言した。(令和6年1月9日)

▶ 「人口ビジョン2100」における定常化戦略で挙げられる具体策

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ①若者の雇用改善や女性の就労促進 | ②生産性の低い産業の改革 |
| ③永住外国人に対する総合戦略の策定 | ④総合的な子育て支援制度の構築 |

次に人口減少が進む私たちが生活する伊賀地域や伊賀市の将来のために
「地区住民自治協議会」や「伊賀市校区再編計画」は一体どのような計画で進めていくのか？
今後の方向について考えたい。
(次ページへ)